

平成29年度岩手県立種市高等学校
第1回学校評議員会 記録

期 日 平成29年6月23日(金) 16:30~17:00
場 所 本校 会議室
出席者 学校評議員 A氏(地域関係者)
B氏(教育関係者)
C氏(地域関係者)
D氏(地域関係者)
E氏(地域関係者)
学校職員 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、
進路指導主事、保健主事、教育相談主任、海洋開発科主任、
各学年主任、総務部員

1 開 会

2 校長あいさつ

3 出席者あいさつ

4 学校概況説明

- (1) 学校経営計画(校長より)
- (2) 学校状況報告(副校長より)
- (3) 進路状況報告と高総体の結果(副校長より)

5 質疑【評：学校評議員、○：本校職員】

評：海洋開発科の生徒を遠方から呼び込む工夫はあるか。

○：寮の整備や、港湾局を通じてポスターの掲示をしている。今後は駅構内や水族館等のポスター掲示を検討している。

評：寮について詳しく知りたい。

○：学区外から来る海洋開発科の生徒が対象で、普通科の生徒は想定していない。

評：就職後の生徒の様子について知りたい。

○：3年内の離職率は20~30%である。企業訪問を実施し、就職した生徒に直接会い様子をうかがっている。6月26日(月)から28日(水)の3日間、関東方面に企業訪問の予定である。

評：海洋開発科で海洋に関わる仕事に就く生徒の割合はどれくらいか。

○：半数は海洋関係、残りは土木関係や自衛官、県職員などに就職している。

6 提言

A氏：学生寮の計画もあり、遠方から生徒が集まれば良い。幅広く啓発活動を行い、PRしてほしい。

B氏：男子バスケットボール部がないのが気になる。小中学とバスケをやっている高校で継続できないと地域や保護者からも話が出ている。男子バスケットボール部の設立を検討してほしい。

それとは別に情報提供だが、先日津波研修で、県北振興局の女性が種市高校出身で、研修の担当として頑張っていた。

C氏：海洋開発科をなくさないようにしてほしい。

D氏：代々もぐりをしている。これからも若いもぐりの育成をしてほしい。

E氏：部活動や様々な活動を頑張っている。無理のない範囲で事故のないよう気をつけてほしい。

7 その他

8 閉会